

研究開発



ABT Innovia は、独立系の水生、養殖、および生命工学の研究施設として **AquaBioTech Group** を構成しています。

AquaBioTech Group は国際的なコンサルティング企業です。地中海の中心にあるマルタ島という戦略的な場所を本拠地として世界的に活動し、55 を超える国のお客様を相手にプロジェクトを展開しています。

AquaBioTech Group は、世界中の支店と協力企業を通じて、さまざまな養殖、水産業、海洋調査、水族館、および水環境プロジェクトを手がけています。



ABT Innovia

お客様からの依頼に基づいて行う産業研究の主な分野と、弊社が専門とする分野は以下のとおりです。

水生栄養学研究 / 調査

魚類栄養学施設は、市販されている製品の評価や新製品に関する調査研究を目的として、世界中の企業が利用しています。新しい処方や特殊な新開発成分を通じて、魚類の成長改善、環境影響の低減、または魚類の健康改善への新たなアプローチを試すことができます。幅広い魚種についての消化生理、代謝生化学、品質管理などの綿密な研究も、この施設で行うことができます。

孵化場技術と生産技術

当研究施設は、最新技術を用いた完全に機能する孵化場を有しており、孵化場の生産 / 効率改善のための新技術の開発や、商用および観賞用の養殖における新種生産の知識の構築に取り組んでいます。

獣医研究

獣医ユニットの目的は、ワクチンの開発、検査、有効性および攻撃試験ならびに、水生動物のウイルス性疾患、細菌性疾患、および寄生虫疾患について、さまざまな応用研究を行うことです。

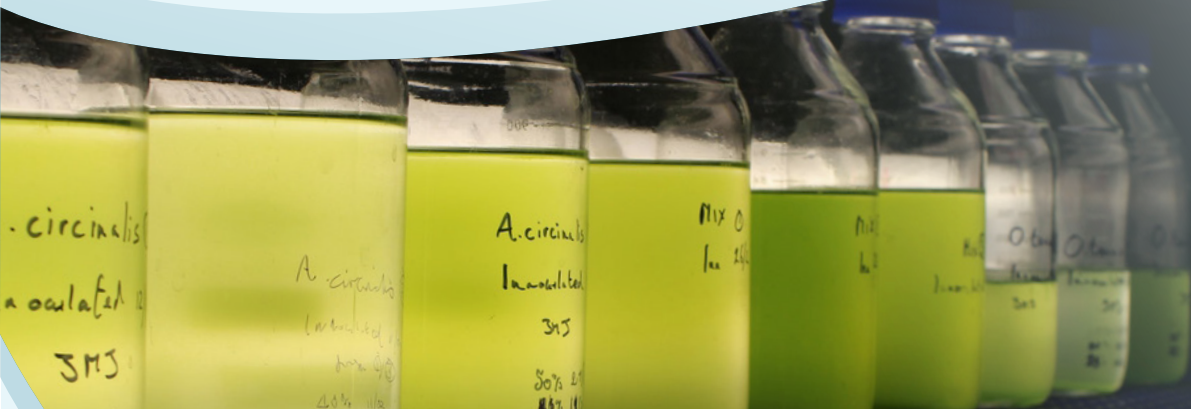
生物医学 / 栄養補助食品研究 - 生物資源調査

海洋資源からは多くの新製品が生み出され続けています。そのため、水産物由来の栄養補助製品

主要研究分野

- 製品の研究と報告 / 評価
- 新種 / 代替種の研究
- 栄養 / 飼育試験 - 商用および鑑賞用養殖種
- ワクチン、有効性検査、安全性検査、攻撃試験
- 技術検査、商用開発、技術監督
- 新製品の技術的サポートと検査
- 生餌と幼生養殖を含む孵化場研修施設

研究開発



検査施設と主要サービス

施設のウェットラボは独立した複数のエリアに分かれているので、バイオセキュリティが最大限に確保され、お客様の機密が守られます。それぞれのウェットルームには、自己完結型の再循環システムを備えた水槽一式が備わり、機械的、化学的、および生物学的に高度な濾過が行われます。全てのシステムは、1 μ mに至るまで段階的に濾過されます。さらにオプションとして、紫外線やオゾンによる連続処理も可能です。システムで使用する淡水または海水の温度は、10 °Cから32 °Cの範囲で調節することができます。ひとつの施設の中で、隔離された槽群を持つ複数のRAS ユニットを運転することが可能です。

完全な機能を備えた研究用の孵化場は、生餌としてのワムシ（シオミズツボワムシ）、アルテミア、および各種藻類（ナノクロロプシス、テトラセルミス、イソクリシス、キートケロス、クロレラ、パプロバ、スケルトネマ）の完全生産能力を持つ研究施設と研修施設を備えます。

各室は、以下のようなさまざまな研究目的に使用することができます。

幼生養殖 – 新種の生産戦略、早期離乳幼生食、生餌代替食検査、給餌戦略、生餌生産技術、および栄養強化など。

獣医と病理研究 – ワクチン検査、病原体攻撃試験、前生物体、免疫刺激剤、有効性および安全性検査など。

栄養研究 – 新しい飼料成分、特殊な資料添加物、プレバイオティクス プロバイオティクス、消化生理研究、微量栄養素必要量、胃排出、生化学的研究、および飼料配合など。種親の栄養 – 卵 / 幼生の品質に及ぼす影響。

生体毒物学研究 – 残留検査、重金属およびその他の水 / 飼料由来の汚染物の生体濃縮など。

観賞用種、新種、および担体種

鯉（*Cyprinus carpio*）、エンゼルフィッシュ（*Pterophyllum scalare*）、ゼブラダニオ（*Danio rerio*）、ワムシ（*Brachionus* sp）、アルテミア。

